

伊勢

自主運行バス来月始動

5コース有料で 住民組織が運営

交通弱者対策として伊勢市沼木地区で試行中の自主運行バスが、



5月から本格運行される自主運行バス―伊勢市で

5月から有料で本格運行する。住民組織の沼木まちづくり協議会が話し合いでルートやダイヤを決め、市から委託を受ける形で走らせる。

市南西部の同地区は高齢化が進み、車などの移動手段を持たない住民が多い。市の補助でバス会社が運行する路線バスがあるが、中心部の伊勢市駅行きは1日1便しかないなど不便だった。協議会が住民主体のバス運行を市に要望し、2013年12月から試行を始めた。

バスは10人乗りのワゴン車2台を使用。ルートは協議会の話し合いで、市街地の路線バスに連絡する「市内連絡用」1コースと、隣接の度会町の商業施設を経由する「買い物」4コースを設定した。これらとは別に、小学生の通学用に専用スクールバスも運行する。

試行では、月々土曜に1日14便を無料で運行している。3月の利用状況は、市内連絡用が1日平均3・9人、買い物用が同4・4、8・5人だった。

週1回程度、買い物で利用するという同市神蘭町の女性(73)は「家に車がないので、バスが走ってくれてありがたい」と話す。

本格運行ではルートの変更はなく、ダイヤの一部改め、1日16便に増やす。運賃は小学生以上100円。75歳

協議会の担当者は「便利なルートが住民に浸透してくれば、さらに利用者は増える」と話す。

本格運行に伴い、地区内を通る現行の路線バス「沼木線」は4月末で廃止される。市は、

88万円を、自主運行バスの人件費や燃料代などにあてる方針。

【新井敦】

メガソーラー来年稼働へ

来月着工、1500キロワット 明和町、企業と協定書調印

定書に調印した。計画によると、運営会社が町から6・6畝の土地を年間440万円借り受け、来月工事に着手し、来年から高圧(6600ボルト)1500キロワットを売電する。また非常時用として、地元で使用可能な低圧(100ボルト)50キロワットも発電する。

来夏には2期事業に着手し、2016年から高圧500キロワットの発電を追加する構想。2期合わせて発電パネル約8200枚を使う予定で、事業期間は36年3月までの約22年間。

運営するのは、船谷建設(伊勢市)と酒類販売会社のパスポート(神奈川・川崎市)が

合同で設立した「FPP Kきらの森」。太陽光発電のほか、地域貢献事業として施設内の空き地を利用し、ハーブの栽培を地元農家に委託する計画などもあり、関係者は「景観を重視しながら特産品を開発するなど、幅広い視野で町の発展に寄与したい」と話している。

【橋本明】

亀山市議選は10月26日投票

定数4減の18で

亀山市選挙管理委員会は21日、任期満了(10月31日)に伴う市議選を10月19日告示、同26日投票と決めた。定数は、現在の22から4減の18になる。

【加藤新市】

羊すっきり毛刈り作業 四日

四日市市立部丘陵公園小動物園で、羊の毛刈り作業が行われている。羊は、現在、小動物園のオーク種1頭、イル種1頭飼育している。

三重

MIE
mie@mainichi.co.jp

津支局

〒514-0006
津市広明町349の2
☎059(226)2211
FAX059(225)7081

伊勢支局

〒516-0037
伊勢市岩淵1の15の26
☎0596(24)1234
FAX0596(21)0174

四日市支局

〒510-0064
四日市市新正4の19の31
☎059(353)6451
FAX059(359)2065

名張支局

〒518-0621
名張市桔梗が丘1の6の84の1
☎0595(65)9161
FAX0595(65)9163

桑名通信部

☎0594(22)3350
FAX0594(24)1400

鈴鹿通信部

☎059(383)8311
FAX059(383)8288

松阪通信部

☎0598(28)5011
FAX0598(28)2310

鳥羽通信部

☎0599(25)2059
FAX0599(26)2058

尾鷲通信部

☎0597(22)7043
FAX0597(22)7043

伊賀駐在

☎0595(21)3251
FAX0595(21)3250

広告は

三重毎日広告社
☎059(225)6111
FAX059(225)6110